

津和野町内遺跡発掘調査報告書 2

2007年3月

島根県津和野町教育委員会

津和野町内遺跡発掘調査報告書 2

2007年3月

島根県津和野町教育委員会

序 文

山陰の小京都として知られる津和野町には、恵まれた自然環境の中で先人たちが生活していた証である貴重な文化財が数多く残されています。今回、町内での開発事業に先立って試掘確認調査をおこないました。調査の結果、縄文時代から近代にかけての遺跡が存在していることが明らかとなり、町内の歴史の一端が次第に明らかになってきました。

本書が埋蔵文化財の理解・普及に寄与し、学校教育・社会教育・学術研究の一資料として活用していただければ幸いです。最後になりましたが、発掘調査に際して多大なご理解・ご協力をいただきました関係各位に対し、心より厚く御礼申し上げます。

平成19年3月31日

津和野町教育委員会

教育長 齋藤 数弘

例 言

1. 本書は津和野町教育委員会が文化庁、鳥根県の補助を受けて平成12～17年度に実施した、津和野町内遺跡の試掘確認調査報告書である。

2. 調査体制は、下記のとおりである。

調査指導	鳥根県教育委員会文化財課		
調査主体	津和野町教育委員会		
事務局	津和野町教育委員会	教育長	齋藤 数弘
		教育次長	廣石 修
		文化財係長	中井 将胤
		文化財係主任主事	米本 潔
調査員	文化財係主任主事	宮田 健一	
調査補助員	嘱託	永田 茂美	
	嘱託	椋木 牧子	
	嘱託	麻野 遥	

3. 発掘調査に際しては、土地所有者をはじめとして、地元の方々に終始多大な協力をいただいたことに、ここに感謝の意を表したい。

4. 今回の調査において、現場あるいは編集に利用した地図は、津和野土地改良区の1/1,000の縮尺のものであり、位置図等は森林基本図1/5,000の縮尺を使用した。また調査地点名は全て大字や小字をもって称することとし、末尾に調査地点を附して統一している。

5. 調査に伴う記録類および出土遺物は、津和野町教育委員会で保存している。

6. 本書は中井が編集に当たり、宮田・永田・椋木・麻野の協力を得た。

7. 平成17年9月25日、旧津和野町と旧日原町が合併し新津和野町となった。本文中の「町内」はすべて「旧津和野町」のことである。

目 次

第1章	はじめに	1
第2章	平成12年度 発掘調査概要	
第1節	西谷地区	5
第2節	大藪地区	9
第3章	平成13年度 発掘調査概要	
第1節	門林地区	11
第2節	大藪地区	15
第4章	平成14年度 発掘調査概要	
第1節	和田地区	17
第2節	市尾地区	19
第5章	平成15年度 発掘調査概要	
第1節	長福地区	21
第2節	徳次地区	28
第3節	堀氏関連	30
第6章	平成16年度 発掘調査概要	
第1節	祇園町・本町地区	32
第7章	平成17年度 発掘調査概要	
第1節	森村・祇園町地区	36
第2節	畑迫地区	45

図・挿図 目次

第1図	位置図	2
第2図	調査地位置図	3-4
第3図	西谷付近試掘調査区配置図	5
第4図	の場(TP2)、前田(TP3)、殿河内(TP7) 付近試掘調査区配置図	6
第5図	大蔭付近試掘調査区配置図	9
第6図	門林付近試掘調査区配置図	11
第7図	氷室付近試掘調査区配置図	12
第8図	大蔭付近試掘調査区配置図	15
第9図	和田付近試掘調査区配置図	17
第10図	市尾付近試掘調査区配置図	19
第11図	長福付近試掘調査区配置図	22
第12図	大婦ヶ付付近試掘調査区配置図	23
第13図	本郷付近試掘調査区配置図	25
第14図	土居丸船付近試掘調査区配置図	27
第15図	徳次付近試掘調査区配置図(1)	28
第16図	徳次付近試掘調査区配置図(2)	29
第17図	堀氏関連遺構試掘調査区配置図	30
第18図	祇園町・本町付近試掘調査区配置図	33
第19図	森村付近試掘調査区配置図	37
第20図	祇園町付近試掘調査区配置図	43
第21図	知迫付近試掘調査区配置図	45

図版 目次

- 図版 1 1. TP2付近遠景 (南東より)
2. TP2完掘状況 (北より)
3. TP3完掘状況 (西より)
- 図版 2 1. TP7付近 (西より)
2. TP7完掘状況 (南西より)
3. 西谷地区出土遺物
- 図版 3 1. TP2、3(34、35)
付近遠景 (西より)
2. TP2(34) 完掘状況 (北より)
3. 出土遺物
- 図版 4 1. TP11付近遠景 (南西より)
2. TP6完掘状況 (北東より)
3. TP6出土遺物状況
- 図版 5 1. 氷室遺存状況
2. 山陰道遺存状況
3. 陶本陣跡の曲輪
- 図版 6 1. TP10付近近景 (西より)
2. TP7完掘状況 (南東より)
3. 出土遺物
- 図版 7 1. TP1付近近景 (南西より)
2. 完掘状況 (南より)
3. 出土遺物
- 図版 8 1. TP4・5付近遠景 (北より)
2. TP4遺構検出状況 (北より)
3. 出土遺物
- 図版 9 1. 大塚ヶ付付近遠景 (北より)
2. 完掘状況
3. 出土遺物
- 図版10 1. 本郷付近遠景 (南より)
2. 完掘状況
3. 出土遺物
- 図版11 1. 土居丸館付近遠景 (北より)
2. 完掘状況
3. 出土遺物
- 図版12 1. 完掘状況
2. 出土遺物
- 図版13 1. 調査区近景 (南西より)
2. 暗渠遺構
3. 出土遺物
- 図版14 1. TP1(祇園町) 近景 (北西より)
2. TP1完掘状況 (南より)
3. 出土遺物
- 図版15 1. TP3(本町) 近景 (北東より)
2. TP3完掘状況 (北より)
3. 出土遺物
- 図版16 1. TP1調査区近景 (東より)
2. TP2完掘状況 (南より)
3. 出土遺物
- 図版17 1. S2調査区近景 (北東より)
2. 完掘状況 (北より)
3. 出土遺物
- 図版18 1. S3調査区近景 (東より)
2. 完掘状況 (東より)
3. 出土遺物
- 図版19 1. S4調査区近景 (南より)
2. 完掘状況 (西より)
3. 出土遺物
- 図版20 1. S5調査区近景 (東より)
2. 完掘状況 (南より)
3. 出土遺物
- 図版21 1. S6調査区近景 (北より)
2. 完掘状況 (東より)
3. 出土遺物
- 図版22 1. S7調査区近景 (北より)
2. 完掘状況 (北より)
3. 出土遺物

第1章 はじめに

1. 調査目的

この事業は、町内で頻発する民間事業・公共事業などの開発事業に対処するために、発掘調査を実施することによって、町内に所在する埋蔵文化財を適切に保護し、将来に向けて保存を図ることを目的とする。

2. 調査の経過

津和野町教育委員会では、開発事業に際して文化財の有無照合があった場合、試掘確認調査をおこない、埋蔵文化財の遺存状況の確認に努めている。

3. 調査地点

実施した試掘確認調査は第1表の通りである。また調査場所については、第2図に記した。なお、第2図に記されている番号は、第1表の番号と一致する。

番号	年度	年月日	遺跡名・試掘場所	住所
1	12	3月～	西谷（試掘）9ヶ	西谷
2	12	3月～	大藤（試掘）4ヶ	大藤
3	13	3月～	門林（試掘）11ヶ	門林
4	13	3月～	大藤（試掘）2ヶ	大藤
5	14	7月～	和田（試掘）1ヶ	和田
6	14	8月～	市尾（試掘）7ヶ	市尾
7	15	8月～	長福（試掘）15ヶ	木部
8	15	10月～	徳次（試掘）4ヶ	名賀
9	15	12月～	堀氏関連（試掘）4ヶ	畑迫
10	16	9月～	祇園町・本町（試掘）3ヶ	後田
11	17	5月～	森村（試掘）5ヶ	森村
12	17	10月～	祇園町（試掘）1ヶ	後田
13	17	2月～	畑迫（試掘）1ヶ	畑迫

第1表 試掘確認調査一覧

4. 位置と歴史的環境

津和野町は、島根県西部に位置し（第1図）、平成17年9月25日に合併が行われたため、現在では北・東側が益田市、南側が吉賀町、西側が山口県に接した位置に存在する。そして東西27km、南北19kmを測り、総面積の307.09km²となる。

また、総面積の約8割以上が山林で、高津川や津和野川の流域とその支流が入り込み、流域に市街地、集落、農地が点在し、まさに典型的な中山間地域である。

津和野の歴史は、これまでのところ縄文時代早期にまで遡り、高田遺跡、山崎遺跡からは押型土器が出土している。また高田遺跡からは中期の阿高式、後期中頃の鐘崎式土器がまとめて発見さ



第1図 位置図

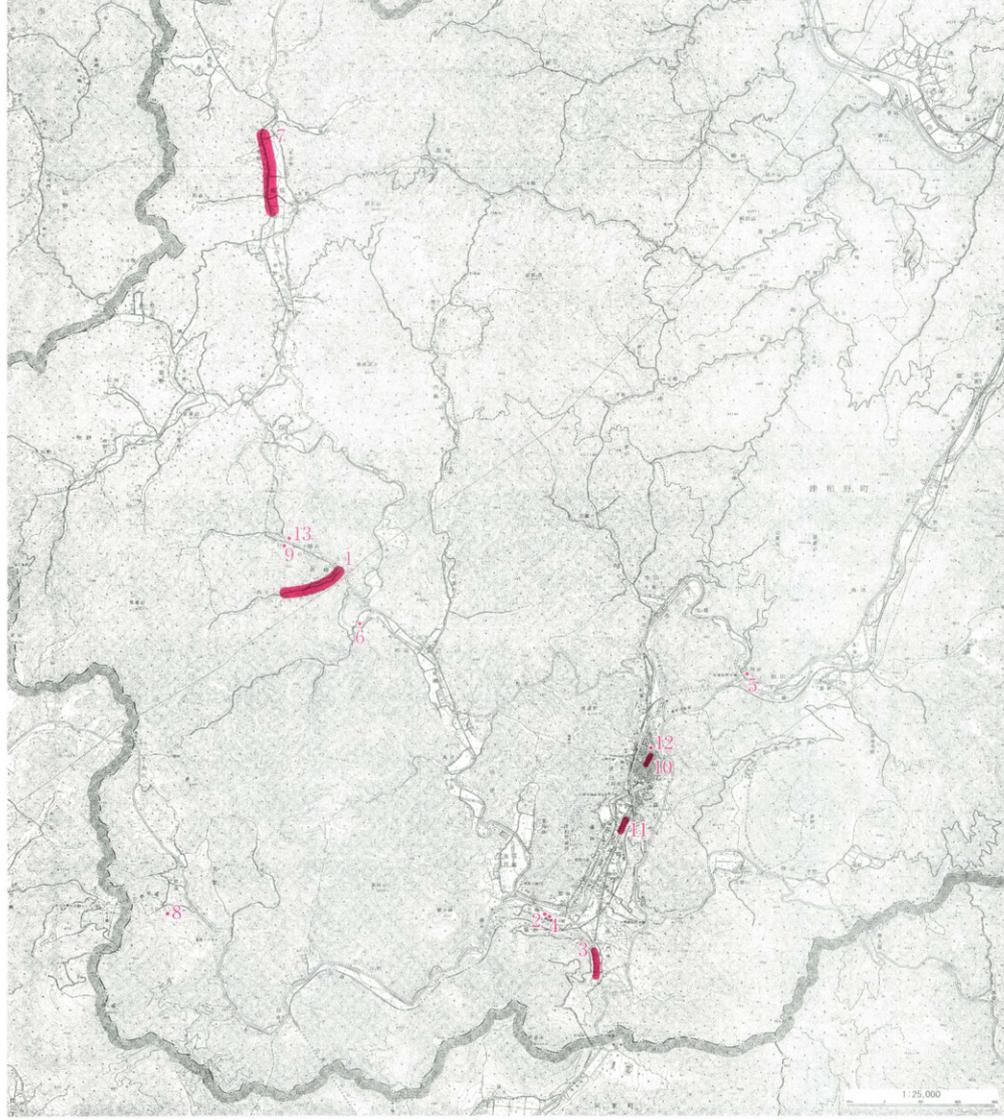
安時代の緑釉陶器、皇朝十二銭の一つ承和昌寶（836年初鑄）、大量の土師器、須恵器が発見されており、当時石見国鹿足郡能濃郷（現美濃郡鹿足郷）と呼ばれていたこの地域の重要な拠点が高田地区にあったものと思われる。

中世津和野の領主吉見氏は、弘安5（1282）年に元寇再防備のため能登国から津和野北部の木部地区に入り、その後14C代に津和野城を構えたと伝えられている。文献では吉見氏入部以前の記録はほとんど残されていないが、これまでの高田遺跡の発掘調査では12・13C代の白磁が大量に出土しており、吉見氏入部以前に津和野地方に有力者が存在していたことが考古学的証拠によって明らかになりつつある。中世の津和野城の大手口は近世以降の大手口とは反対側の喜時雨にあったと伝えられ、吉見氏の居館も同地に存在していたとするのが通説である。

関ヶ原の役後、吉見氏は毛利氏に伴い萩に移るが、その後坂崎出羽守の16年間の治領となり、津和野城の大改築・城下町整備など、現在の町並みの基礎となる大事業が行われた。その後、亀井氏11代225年間の治世を経て明治維新を迎えることとなる。

れ、対岸の大蔵遺跡からは後期後半の西平式土器が採集されるなど、当時この地域が九州地方の情報の及ぶ範囲であったことが窺える。

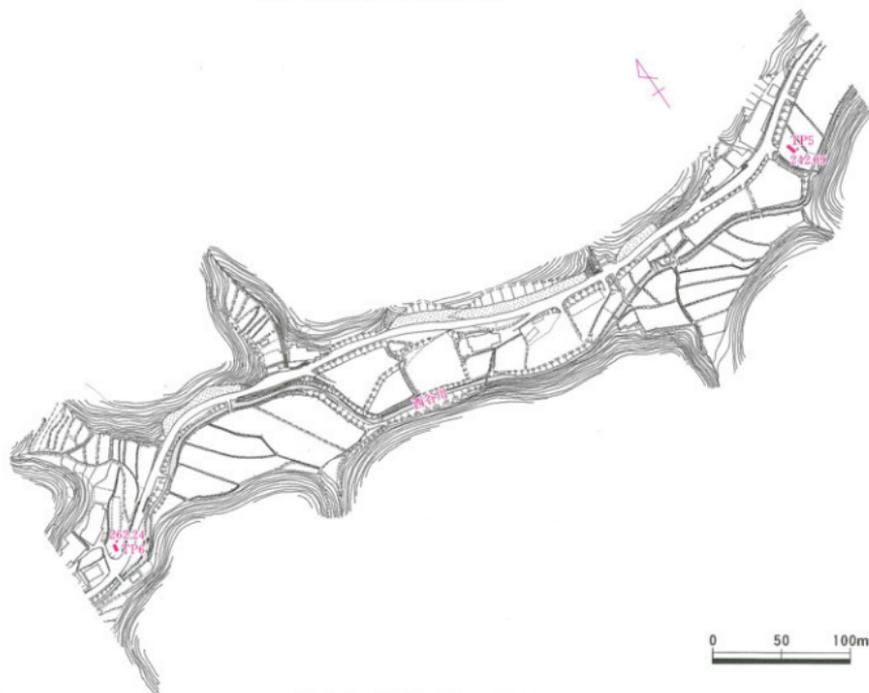
弥生時代後期後半から古墳時代前期にかけての集落が高田遺跡で確認され、在地の土器群に混じって吉備地方から運ばれてきた外来の土器が発見されている。町内の古墳は、津和野川最上流の木部地区において鍛冶原古墳群が確認されているのみである。高田遺跡からは奈良・平



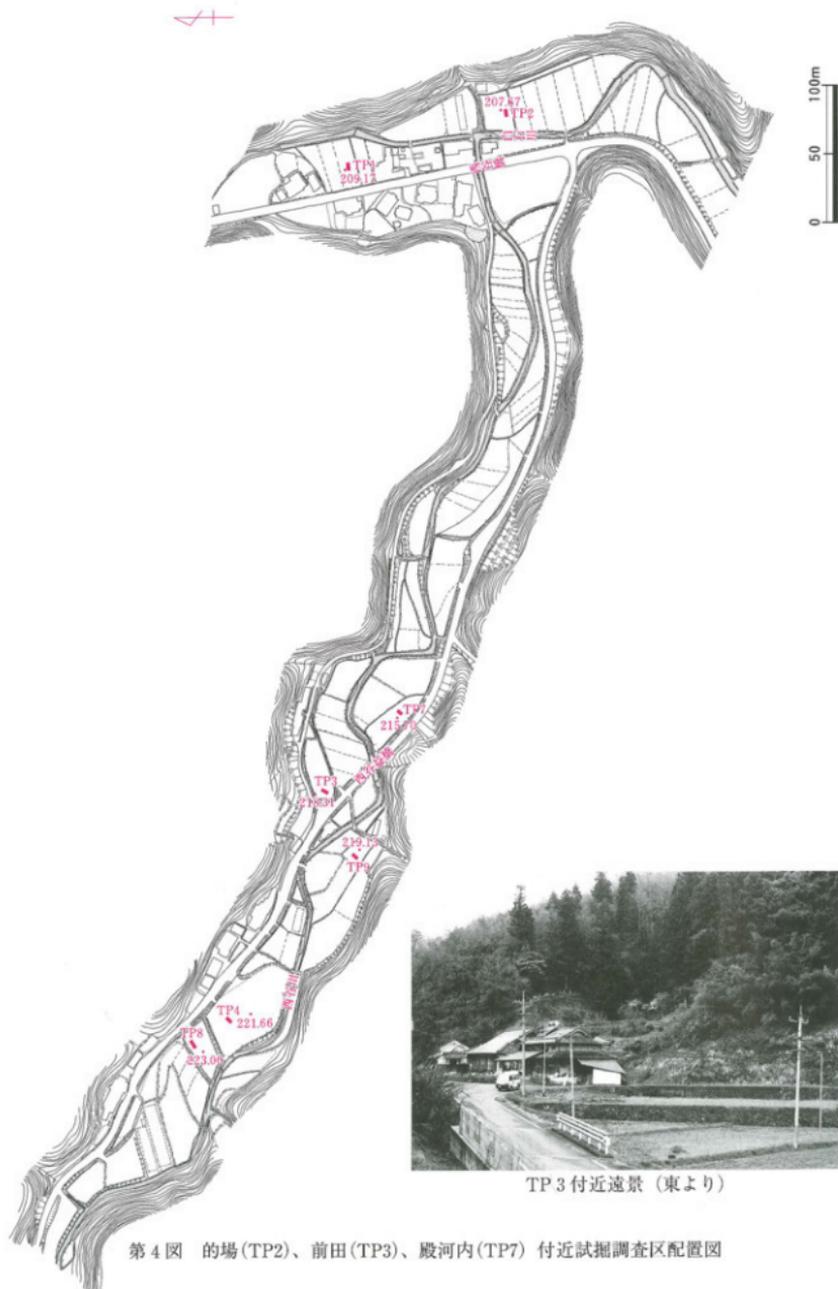
第2章 平成12年度 発掘調査概要

第1節 西谷地区

- | | |
|-----------|---|
| ①住所 | 津和野町邑輝 |
| ②調査内容 | 試掘9ヶ |
| ③調査結果 | 遺跡の存在が確認された。 |
| ④遺跡の時代と種類 | 中世の集落跡、散布地 |
| ⑤主な発見遺構 | ピット2基 |
| ⑥主な出土物と概数 | 土師器ビニール1袋、瓦質土器ビニール1袋 |
| ⑦調査所見 | 蛇行した川で隔てられた3ヶ所（TP2・3・7）に中世の遺跡が存在していることが明らかになった。遺跡が確認された場所の字名は「的場」「前田」「殿河内」であり、地名から中世武士の集落の存在が指摘されていたことを裏付けることとなった。出土遺物量は少なく、遺跡の立地、性格を反映している可能性が考えられる。 |



第3図 西谷付近試掘調査区配置図



第4図 の場(TP2)、前田(TP3)、殿河内(TP7)付近試掘調査区配置図



1. TP2付近遠景（南東より）

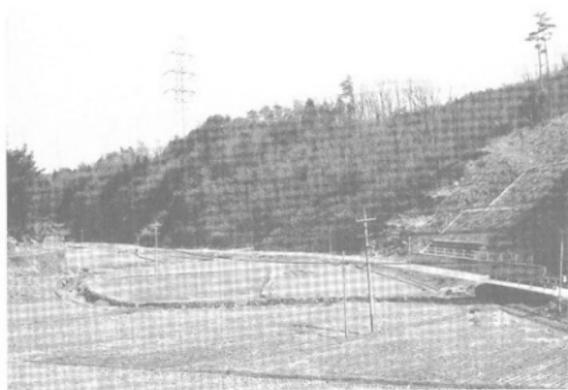


2. TP2完掘状況（北より）

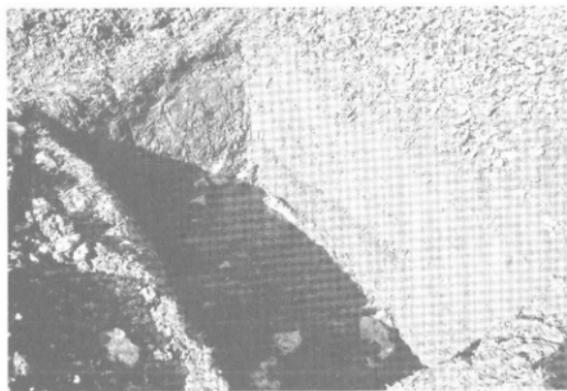


3. TP3完掘状況（西より）

図版 2



1. TP7付近（西より）



2. TP7完掘状況（南西より）

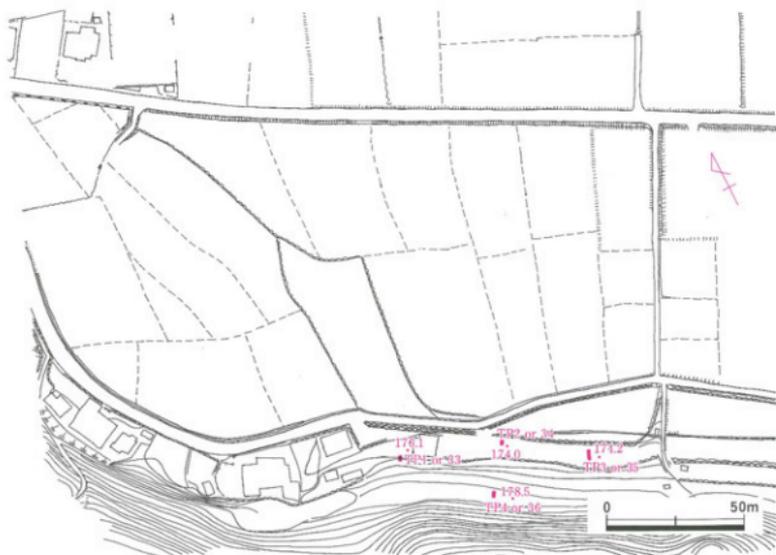


3. 西谷地区出土遺物

第2節 大蔭地区

- | | |
|-----------|------------------------|
| ①住所 | 津和野町鷺原 |
| ②調査内容 | 試掘4ヶ |
| ③調査結果 | 遺跡の存在が確認された。 |
| ④遺跡の時代と種類 | 弥生時代・平安時代～中世の散布地 |
| ⑤主な発見遺構 | なし |
| ⑥主な出土品と概数 | 弥生土器ビニール1袋、土師器ビニール1袋 |
| ⑦調査所見 | 試掘調査の結果、弥生土器、土師器が出土した。 |

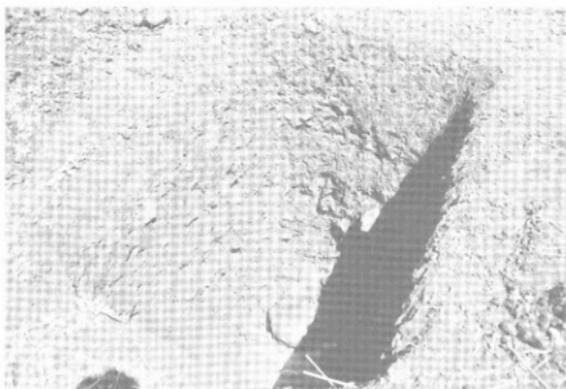
最上部に設定したTP4から遺物が流れ込みとみられる状況で出土したことから、南上方にある河岸段丘上に遺跡が存在することが事実となった。TP2では平安時代～中世と見られる土師器がまとも出土していることから、同時代の遺跡が存在しているものと考えられる。北東約10mにあった大蔭遺跡3区が山裾まで続いている可能性がある。



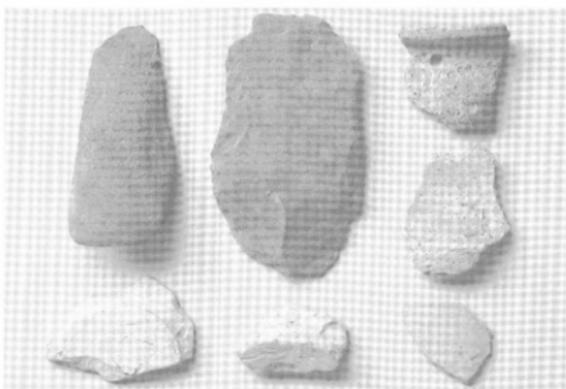
第5図 大蔭付近試掘調査区配置図



1. TP2、3(34、35)
付近遠景 (西より)



2. TP2(34) 完掘状況
(北より)

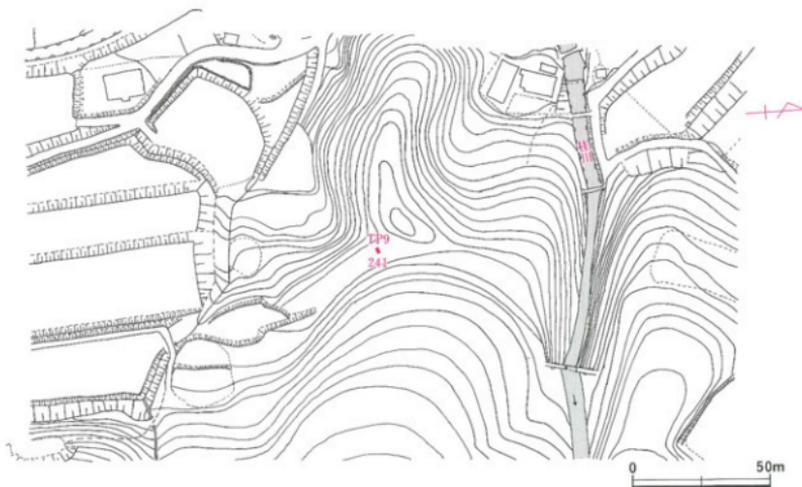


3. 出土遺物

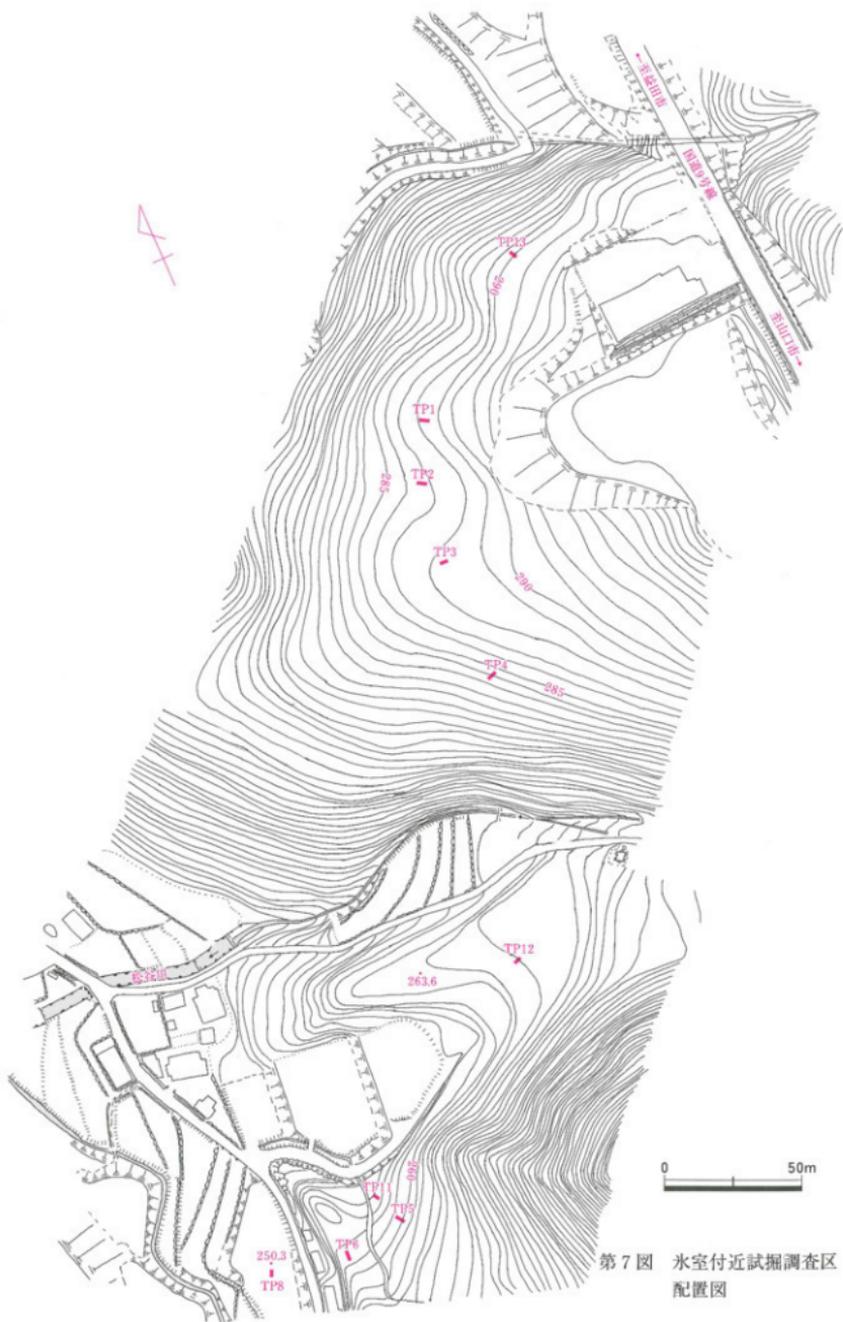
第3章 平成13年度 発掘調査概要

第1節 門林地区

- | | |
|-----------|---|
| ①住所 | 津和野町中座 |
| ②調査内容 | 試掘11ヶ |
| ③調査結果 | 遺跡の存在を確認した。 |
| ④遺跡の時代と種類 | 中世の散布地 |
| ⑤主な発見遺構 | 土坑1基(時期不明) |
| ⑥主な出土品と概数 | 土師器ビニール1袋、陶磁器ビニール1袋、
石製品ビニール1袋 |
| ⑦調査所見 | 県道柿木津和野停車場線建設関連工事予定地内を中心に踏査、11ヶ所の試掘調査を実施した。TP5・6で中世土師器片および青磁片が出土し、新たな遺跡が存在することが明らかになった。TP13で検出した土坑は、埋土に炭を多く含み下面の一部が焼けているが、時期は不明である。
なお、地元で「水室 ^{ひょうしつ} 」と呼ばれている遺構が存在していることが明らかとなった。明治期に使用されたとされる遺構であり、現在では利用されなくなった貴重な民俗文化財の一つである。また、県道建設予定地の一部は旧山陰道と重なっており、その西側斜面には陶晴賢本陣跡の曲輪の一部と推定される削平地が存在していることを踏査によって確認した。 |



第6図 門林付近試掘調査区配置図



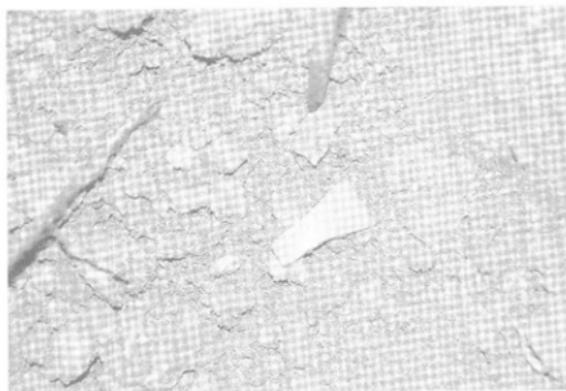
第7図 水室付近試掘調査区配置図



1. TP11付近遠景（南西より）



2. TP6完掘状況（北東より）



3. TP6出土遺物状況